



『認知症スクリーニング研修』

医療法人湖山荘 あずま通りクリニック

小林直人

【本日の内容】

- * MMSE実施方法
- * HDS-R実施方法
- * STMT実施方法
- * 認知症重症度分類について

MMSEの項目

項 目	点 数
1. 今日は平成何年何月何日何曜日？季節は？	5
2. ここはどこですか？何県何市？何階？何地方？	5
3. 桜、猫、電車を繰り返して言ってみてください。	3
4. 100から7を順にひいてください。	5
5. さっきいった3つの単語を思い出してください。	3
6. (時計、鉛筆をそれぞれ見せながら)これは何？	2
7. 「みんなで力をあわせて綱をひきます」を繰り返してください。	1
8. 紙を右手に持って、半分に折りたたんで、机においてください。	3
9. 「目を閉じなさい」の指示に従ってください。	1
10. 何か文章を書いてください。	1
11. この図形(五角形の重なり)をまねして書いてください。	1
合計点数/カットオフ値	30点/23点以下

改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)の項目

項 目	点 数
1. お年はいくつですか？	1
2. 今日は平成何年何月何日ですか？	4
3. いまいる場所はどこですか？	2
4. 桜、猫、電車を繰り返して下さい。	3
5. 100-7はいくつですか？	2
6. 6-8-2、3-5-9-2を逆から言って下さい。	2
7. さっきいった3つの単語を思い出して下さい。	6
8. ここにある5つの物の名前を覚えてください。	5
9. 知っている野菜の名前を10個言って下さい。	5
合 計 点 数/カットオフ値	30/20点以下

スクリーニングテストの怖さ

- 実施したという安心感が検査者に生じる。
- カットオフ値を上回っていたらそれでいいのか？
 - カットオフ値は明らかな問題者を見つけるための目安に過ぎない！
- カットオフ値を上回っていたとしても問題となる患者が多数いることを知るべし。

【簡易短期記憶再生検査 (STMT)】

①これから言う3つの言葉を言ってみて下さい。後でまた聞きますのでよく覚えておいて下さい。	解答欄	点数
		0 1
a) 青い花		0 1
b) 黄色い自動車		0 1
c) 白い鳥		0 1
②これからいう数字を繰り返して言ってみて下さい。	5 9 1 7 4 2 8	0 1
5 9 1 7 4 2 8 (7桁) 6 1 9 4 7 3 (6桁)	6 1 9 4 7 3	0 1
		0 1
③先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみて下さい。		0 1
		0 1
合計得点	/ 8	

カットオフ値
4点

Functional Assessment Staging (FAST)

FAST stage	臨床診断	FASTにおける特徴
1. 認知機能障害なし	正常	主観的および客観的機能低下は認められない
2. 非常に軽度認知機能低下	年齢相応	物の置き忘れを訴える。 喚語困難
3. 軽度認知機能低下	境界状態	熟練を要する仕事の場面では機能低下が同僚によって認められる。 新しい場所に旅行することは困難
4. 中等度認知機能低下	軽度アルツハイマー型	夕食に客を招く段取りをつけたり、家計を管理したり、買い物をしたりする程度の仕事でも支障を来す。
5. やや高度認知機能低下	中等度アルツハイマー型	介助なしでは適切な洋服を選んで着ることができない、入浴させるときにもなんとかなだめすかして説得することが必要なこともある。
6. 高度認知機能低下	やや高度アルツハイマー型	(a)不適切な着衣
		(b)入浴に介助を要す入浴を嫌がる
		(c)トイレの水を流せなくなる
		(d)尿失禁
		(e)便失禁
7. 非常に高度認知機能低下	高度アルツハイマー型	(a)最大限約6語に限定された言語機能の低下
		(b)理解し得る語彙はただ1つの単語となる
		(c)歩行能力の喪失
		(d)着座能力の喪失
		(e)笑う能力の喪失
		(f)昏迷および昏睡

認知症重症度別の臨床的特徴

軽度



家計を管理できない



買い物で必要なものを
必要なだけ買うことが
できない



買い物でお金を
正しく払えない



物事の段取りを
つけられない

中等度



状況に合った
服装を選べない
(場面・季節)



毎日の入浴を
忘れることがある、
嫌がる



一人で買い物が
できない



感情や行動、
睡眠が不安定

高度



一人で服を着ることが
できない



体がうまく洗えない、
一人で入浴するこが
できない



トイレの水を流すのを
忘れたり、きちんと
拭くのを忘れたりする



尿失禁や
便失禁がみられる

「いまの状態みるしるシート」

☑ いまの状態みるしるシート

日常生活で何かお気づきのことはありませんか



監修：鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座 教授 浦上 克哉 先生

第一三共株式会社



日常生活で何かお気づきのことはありませんか

記入日 年 月 日

監修：鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座 教授 浦上 克哉 先生

軽度



家計を管理できない



買い物で必要なものを必要だけ買うことができない



買い物でお金を正しく払えない



物事の段取りをつけられない

中等度



状況に合った服装を選べない(場面・季節)



毎日の入浴を忘れることがある、嫌がる



一人で買い物ができない



感情や行動、睡眠が不安定

重度



一人で服を着ることができない



体がうまく洗えない、一人で入浴することができない



トイレの水を流すのを忘れたり、きちんと拭くのを忘れたりする



尿失禁や便失禁がみられる

5

「自分でできる認知症の気づき チェックリスト」をやってみましょう!



「ひょっとして認知症かな？」
気になり始めたら自分でチェックしてみましょう。
※ご家族や身近な方がチェックすることもできます。

自分でできる 認知症の気づきチェックリスト

最も当てはまるところに○をつけてください。

チェック①	まったくない	とまどきある	頻繁にある	いつもそうだ
<p>財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか</p>	1点	2点	3点	4点
<p>5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか</p>	1点	2点	3点	4点
<p>周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとされますか</p>	1点	2点	3点	4点
<p>今日が何月何日かわからないときがありますか</p>	1点	2点	3点	4点
<p>言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか</p>	1点	2点	3点	4点

チェック⑥	問題なくできる	だいたいできる	あまりできない	できない
<p>貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか</p>	1点	2点	3点	4点
<p>一人で買い物に行けますか</p>	1点	2点	3点	4点
<p>バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか</p>	1点	2点	3点	4点
<p>自分で掃除機やほうきをを使って掃除ができますか</p>	1点	2点	3点	4点
<p>電話番号を調べて、電話をかけることができますか</p>	1点	2点	3点	4点

※このチェックリストの結果はあくまでもおおよその目安で医学的診断に代わるものではありません。
認知症の診断には医療機関での受診が必要です。
※身体機能が低下している場合は点数が高くなる可能性があります。

チェックしたら、①から⑩の合計を計算▶ 合計点 点

20点以上の場合は、認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。
9ページ以降に紹介しているお近くの医療機関や相談機関に相談してみましょう。

MMS E 検査マニュアル

●検査実施上の留意点

【全体を通して】

- ・検査の客観性を維持するために、全ての検査者が、全ての被験者に同じ対応をすることが大切です。
- ・質問の言葉は変更しないで下さい。
- ・最後の課題まで実施します。質問後、被験者から質問されても質問に答えないようにして下さい。
- ・10秒たっても何も答えられないときは0点として次の検査に進みます。被験者を正答に導かせるようなヒントは出さないようにして下さい。
- ・検査者は被験者の答えを検査シートの「回答」欄に記録し、後で確認できるようにします。
- ・身体的条件により検査ができない項目に関しては省略します。
- ・聴覚障害のある方の場合、検査8は省略します。それ以外の検査項目に関しては質問および指示を書いたものを見せて検査を実施します。（質問および指示をしたら書いたものは伏せるようにして下さい）
- ・言語障害のある方の場合、言葉で答える検査項目に関しては言葉で答える代わりに文字で書いていただくようにして下さい。文字の書けない方は検査を省略します。
- ・検査を終了したら各質問の得点を「得点」欄に記入し、合計得点を計算します。

【検査を始める前に】

- ・検査を始める際、「頭の体操、健康診断をしてみましょう」「簡単なクイズのようなものをしましょう」と言って、場の雰囲気のを和らげます。検査・テストという言葉は被験者に不安感を抱かせますので使わないようにして下さい。

◆検査1番（時間の見当識）

「今日は何日ですか」

「今年は何年ですか」

「今の季節は何ですか」

「今日は何曜日ですか」

「今月は何月ですか」

（留意点）

- ・最初の質問で、被験者の回答に複数の項目が含まれていてもかまいません。その場合、該当する項目の質問は省きます。（例：最初の質問に被験者が「平成18年7月1日」と答えたら、その後「今の季節は何ですか」「今日は何曜日ですか」の質問だけをします。
- ・「今年は何年ですか」の回答は、西暦・年号のどちらでも可とします。被験者に聞かれたらどちらでもよいと伝えます。
- ・「今の季節は何ですか」で、季節の切りかわりの時期の場合はどちらでも可とします。また「初冬」「梅雨」なども正解とします。

◆検査 2 番（場所の見当識）

「ここは都道府県でいうと何ですか」

「ここは何市（町・村・区など）ですか」

「ここはどこですか（*）」

* 回答が地名の場合、「この施設の名前は何ですか」と質問をかえる。正答は建物の名前・施設名のみとする。

「ここは何階ですか」

「ここは何地方ですか」

（留意点）

- ・ 「ここはどこですか」の回答が地名の場合、「この施設の名前は何ですか」と質問をかえて下さい。正答は建物の名前・施設名のみとします。
- ・ 最初の質問で、被験者の回答に複数の項目が含まれていてもかまいません。その場合、該当する項目の質問は省きます。
- ・ 地方については、その地方の一般的な呼び名であれば可とします。「北関東地方」「首都圏」「上越」「中越」などでも、また県内の一部をさす「県北地方」でも正答とします。

◆検査 3 番（即時想起）

「今から私がいう言葉を覚えてくり返し言って下さい。『さくら、ねこ、電車。』はいどうぞ」

* 検査者は3つの言葉を1秒に1つずつ言う。その後、被験者にくり返させ、この時点でいくつ言えたかで得点を与える。

正答1つにつき1点。合計3点満点。

「今の言葉は、後で聞くので覚えておいて下さい」

* この3つの言葉は、質問5で再び復唱させるので3つ全部答えられなかった被験者については、全部答えられるようになるまでくり返す（ただし6回まで）

（留意点）

- ・ 検査者は3つの言葉を1秒に1つずつ言います。その後、被験者にくり返していただき、この時点でいくつ言えたかで得点を与えます。正答は1つにつき1点で、合計3点満点になります。
- ・ 1回目だけで得点をつけます。順番が違ってても正解とします。
- ・ 全てを言えなかった場合、3つとも言えるようになるまでくり返します。（ただし、6回まで）

◆検査 4 番（計算）

「100から順番に7をくり返しひいて下さい」

* 5回くり返し7を引かせ、正答1つにつき1点。

合計5点満点。

正答例 93 86 79 72 65

(留意点)

- ・質問の意味が理解できていない場合、または質問のくり返しを求められた場合、「100から順番に7をくり返しひいて下さい」とくり返し言います。
「100ひく7は？」と尋ねません。
- ・答えが止まってしまった場合は「それから」と言って促します。
- ・答えが全くでない、また不穩・体調不良等でこの課題の継続が困難な場合は、無理をせず途中で中止して下さい。
- ・途中で誤答になっても、次の回答が「ひく7」になっていれば正答とします。
例えば、93→87→80→73→65の場合、○→×→○→○→× で3点となります。

◆検査5番(遅延再生)

「さっき私がいった3つの言葉は何でしたか」

* 質問3で提示した言葉を再度復唱させる。

(留意点)

- ・正答1つにつき1点とします。
- ・言葉の順番が違ってても正解とします。

◆検査6番(物品呼称)

時計を見せながら「これは何ですか？」

鉛筆を見せながら「これは何ですか？」

* 正答1つにつき1点。合計2点満点。

(留意点)

- ・正答1つにつき1点とします。

◆検査7番(文の復唱)

「今から私がいう文を覚えてくり返し言って下さい。みんなで力を合わせて綱を引きます」

* 口頭でゆっくり言い、くり返させる。1回で正確に答えられる場合1点を与える。

(留意点)

- ・指示文は、文節で区切らず、ゆっくり、はっきりと一気に読みます。
- ・正しく復唱できた場合に1点とし、1回のみで評価します。

◆検査8番(口頭指示)

「今から私がいう通りにして下さい。右手にこの紙を持って下さい。それを半分に折りたたんで下さい。そして私に下さい」

* 紙を机の上に置いた状態で教示を始める。

* 各段階毎に正しく作業した場合に1点ずつ与える。合計3点満点。

(留意点)

- ・ A 5 (A 4 の半分) 程度の紙を用意し、作業していただきます。
- ・ 教示は一度に行い、一作業ずつ教示・確認してはいけません。
- ・ 質問はゆっくり、はっきり言います。
- ・ 右片麻痺の方の場合は、“右手”を“左手”に言い換えて下さい。

◆検査 9 番 (書字指示)

「この文を読んで、この通りにして下さい」

- * 被験者は音読でも黙読でもかまわない。実際に目を閉じれば 1 点を与える。

◆検査 10 番 (自発書字)

「この部分に何か文章を書いて下さい。どんな文章でもかまいません」

- * 検査者が例文を与えてはならない。意味のある文章ならば正答とする。
(* 名詞のみは誤答、状態などを示す四字熟語は正答)

(留意点)

- ・ 身体的な障害で書く作業のできない方の場合には口述筆記し、検査シートに“口述筆記”と明記します。
- ・ 検査 9 の問題が見えないようにします。
- ・ 質問の意味を理解していない、質問をくり返すよう問われた場合、もう一度教示をくり返し、ヒントは出しません。
- ・ 主語がなくても述語が存在し、意味がある文を書いた場合、正答とします。文法・文字・読点の誤りは無視します。

◆検査 11 番 (図形模写)

「この図形を正確にそのまま書き写して下さい」

- * 模写は角が 10 個あり、2 つの五角形が交差していることが正答の条件。
手指のふるえなどはかまわない。

(留意点)

- ・ 2 つの図形が、五角形でなかったり、離れていたりする場合は不正解とします。
- ・ 身体的な障害で書く作業のできない方の場合には省略し理由を明記します。

Mini-Mental State Examination (MMSE)

得点：30点満点

検査日：200 年 月 日 曜日 施設名： _____

被験者： _____ 男・女 生年月日：明・大・昭 年 月 日 歳

プロフィールは事前または事後に記入します。 検査者： _____

質問と注意点		回 答	得 点
1 (5点) 時間の 見当識	「今日は何日ですか」	日	0 1
	「今年は何年ですか」	年	0 1
	「今の季節は何ですか」		0 1
	「今日は何曜日ですか」	曜日	0 1
	「今月は何月ですか」	月	0 1
2 (5点) 場所の 見当識	「ここは都道府県でいうと何ですか」		0 1
	「ここは何市 (*町・村・区など) ですか」		0 1
	「ここはどこですか」 (*回答が地名の場合、この施設の名前は何ですか、と質問をかえる。正答は建物名のみ)		0 1
	「ここは何階ですか」	階	0 1
	「ここは何地方ですか」		0 1
3 (3点) 即時想起	「今から私がいう言葉を覚えてくり返し言ってください。 『さくら、ねこ、電車』はい、どうぞ」 *テスターは3つの言葉を1秒に1つずつ言う。その後、被験者にくり返させ、この時点でいくつ言えたかで得点を与える。 *正答1つにつき1点。合計3点満点。		0 1 2 3
	「今の言葉は、後で聞くので覚えておいてください」 *この3つの言葉は、質問5で再び復唱させるので3つ全部答えられなかった被験者については、全部答えられるようになるまでくり返す (ただし6回まで)。		
4 (5点) 計算	「100から順番に7をくり返しひいてください」 *5回くり返し7を引かせ、正答1つにつき1点。合計5点満点。 正答例：93 86 79 72 65 *答えが止まってしまった場合は「それから」と促す。		0 1 2 3 4 5
	5 (3点) 遅延再生	「さっき私が言った3つの言葉は何でしたか」 *質問3で提示した言葉を再度復唱させる。	
6 (2点) 物品呼称	時計 (又は鍵) を見せながら「これは何ですか？」		0 1 2
	鉛筆を見せながら「これは何ですか？」 *正答1つにつき1点。合計2点満点。		
7 (1点) 文の復唱	「今から私がいう文を覚えてくり返し言ってください。 『みんなで力を合わせて綱を引きます』」 *口頭でゆっくり、はっきりと言い、くり返させる。1回で正確に答えられた場合1点を与える。		0 1
	8 (3点) 口頭指示	*紙を机に置いた状態で教示を始める。 「今から私がいう通りにしてください。 右手にこの紙を持ってください。それを半分に折りたたんでください。 そして私にください」 *各段階毎に正しく作業した場合に1点ずつ与える。合計3点満点。	
9 (1点) 書字指示	「この文を読んで、この通りにしてください」 *被験者は音読でも黙読でもかまわない。実際に目を閉じれば1点を与える。	裏面に質問有	0 1
10 (1点) 自発書字	「この部分に何か文章を書いてください。どんな文章でもかまいません」 *テスターが例文を与えてはならない。意味のある文章ならば正答とする。(*名詞のみは誤答、状態などを示す四字熟語は正答)	裏面に質問有	0 1
11 (1点) 図形模写	「この図形を正確にそのまま書き写してください」 *模写は角が10個あり、2つの五角形が交差していることが正答の条件。手指のふるえなどはかまわない。	裏面に質問有	0 1

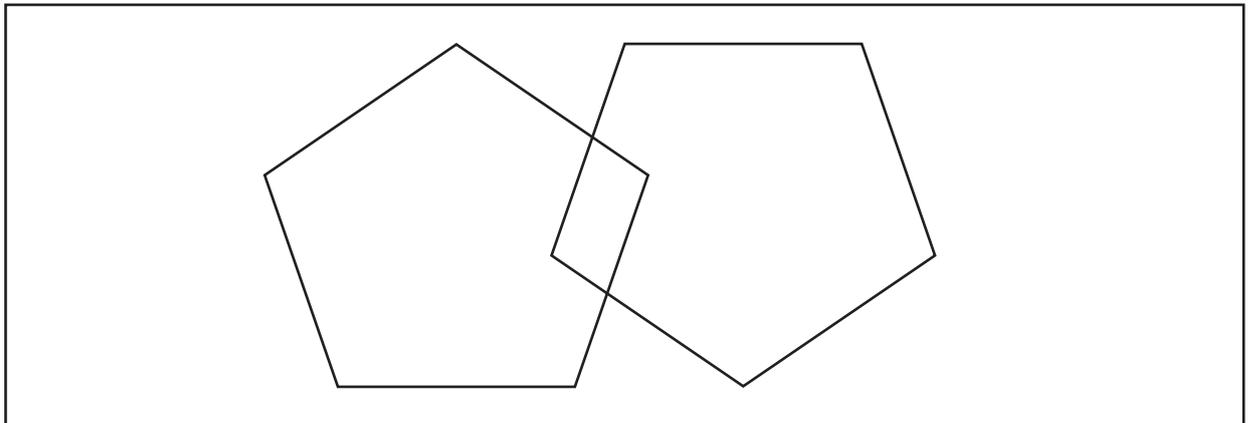
9. 「この文を読んで、この通りにしてください」

め と
「目を閉じてください」

10. 「この部分に何か文章を書いてください。どんな文章でもかまいません」

[]

11. 「この図形を正確にそのまま書き写してください」



[]



【略 歴】

昭和 54 年 日本大学文理学部心理学科卒業
昭和 57 年 聖マリアンナ医科大学病院神経精神科 臨床心理士
平成 5 年 北海道医療大学看護福祉学部 講師・助教授
平成 13 年 東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科 教授
認知症介護研究・研修仙台センター 研究・研修部長
平成 18 年 現 職

(現在の公職) 日本老年社会学会理事, 日本老年精神医学会理事, 日本認知症ケア学会理事,
日本認知症ケア学会誌編集委員長, 日本臨床心理士会高齢者支援専門委員

(主な著書)

・認知症になるとなぜ「不可解な行動」をとるのか(単著)河出書房新社
・認知症の人の介護者のための本(単著)河出書房新社 ほか

(主な論文)

・改訂長谷川式簡易知能評価スケールの作成, 老年精神医学雑誌
・質問式による認知機能障害の心理学「社会福祉士養成テキストブック」(編著)ミネルヴァ書房
・高齢者のための知的機能検査の手引き(共著)ワールドプランニング
・医療と看護のための心理学(共著)

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) の使い方

東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科・教授 / 認知症介護研究・研修仙台センター・センター長

加藤 伸 司

・改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)について

1974年に作成された長谷川式簡易知能評価スケールは、幅広く臨床の領域で使用されてきたが、その後質問項目と採点基準等の見直しが行われ、1991年に改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)として改訂された。

・使用目的と特徴

一般の高齢者から認知症高齢者をスクリーニングすることを目的に作成されたものであり、記憶を中心とした高齢者の大まかな認知機能障害の有無をとらえることを目的としている。質問項目は9問と少なく、本人の生年月日さえ確認できればおよそ5分~10分程度で施行できる。

・検査内容と質問の仕方, 採点法

(設問1) 年齢

「お歳はおいくつですか?」と問い、満年齢が正確にいえれば1点を与え、2年までの誤差は正答とみなす。

(設問2) 日時の見当識

年・月・日・曜日について問う設問。「今日は何月何日ですか?何曜日ですか?今年は何年でしょう」というように順不同に尋ねてもよい。各正答に対してそれぞれ1

点を与える。

(設問3) 場所の見当識

「私たちが今いる場所はどこですか?」と問い、現在いる場所がどこなのかが本質的にとらえられていれば正答とみなし、自発的に答えられれば2点を与える。病院名や施設名、住所などが答えられなくてもよい。もし正答が出てこない場合には、5秒程度待ち、「ここは病院ですか?施設ですか?家ですか?」のように問いかけ、正しく選択できれば1点を与える。

(設問4) 3つの言葉の記銘

「これからいう3つの言葉を覚えてみてください。後でまた聞きますのでよく覚えておいてください」と教示する。「桜・猫・電車」あるいは「梅・犬・自動車」のどちらかを使う。一つの言葉に対して1点を与える。

(設問5) 計算問題

「100引く7はいくつですか?」と問い、答えが出たら「それからまた7を引くといくつでしょう」と問う。正答に対して各1点を与えるが、最初の計算に失敗したら打ち切り、次の設問に進む。

(設問6) 数字の逆唱

「これからいう数字を逆から覚えてください」と教示する。正答に対して各1点を与えるが、最初の逆唱に失敗したら打ち切り、次の設問に進む。

(設問 7) 3つの言葉の遅延再生

「先ほど覚えてもらった言葉をもう一度いってください」と教示する。自発的に答えられたものには 2 点を与え、出てこなかった言葉に対して、それぞれ別々にヒントを与え、ヒントによって答えられたものには 1 点を与える。

(設問 8) 5つの物品記録

「これから 5 つの品物をお見せします。それを隠しますから、ここに何があったかをいってください。順番はどうでもかまいません」と教示する。物品は相互に無関係なものを名前をいいながら一つずつ並べる。各正答に対してそれぞれ 1 点を与える。

(設問 9) 言葉の流ちょう性(野菜の名前)

「知っている野菜の名前をできるだけたくさんいってください」と教示する。5 個までは採点せず、6 個以上に 1 点ずつを加算していく。重複してもかまわないが、それ

は採点しない。途中で言葉に詰まり、約 10 秒たっても出てこないときにはそこで打ち切る。

・判定方法

最高得点は 30 点満点であり、20 点以下を認知症の疑い、21 点以上を正常と判定した場合にもっとも高い弁別性を示す (sensitivity 0.93 specificity 0.86)。HDS-R は、認知症のスクリーニングを目的に作成されたものであり、得点による重症度分類は行わない。

【参考文献】

- 1) 加藤伸司, 長谷川和夫, ほか: 改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) の作成, 老年精神医学雑誌, 2: 1339-1347 (1991)。
- 2) 大塚俊男, 本間 昭監修: 高齢者のための知的機能検査の手引き。ワールドプランニング, 東京(1991)。

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

(検査日： 年 月 日) (検査者：)

氏名：	生年月日： 年 月 日	年齢： 歳
性別：男 / 女	教育年数（年数で記入）： 年	検査場所
DIAG：	(備考)	

1	お歳はいくつですか？ (2年までの誤差は正解)		0	1	
2	今日は何年の何月何日ですか？ 何曜日ですか？ (年月日，曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年	0	1	
		月	0	1	
		日	0	1	
		曜日	0	1	
3	私たちがいまいるところはどこですか？ (自発的にできれば2点，5秒おいて家ですか？ 病院ですか？ 施設ですか？ のなかから正しい選択をすれば1点)		0	1	2
4	これから言う3つの言葉を言ってみてください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 (以下の系列のいずれか1つで，採用した系列に 印をつけておく) 1：a) 桜 b) 猫 c) 電車 2：a) 梅 b) 犬 c) 自動車		0	1	
			0	1	
			0	1	
5	100から7を順番に引いてください。(100-7は？，それからまた7を引くと？ と質問する。最初の答えが不正解の場合，打ち切る)	(93)	0	1	
		(86)	0	1	
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。(6-8-2，3-5-2-9を逆に言ってもらう，3桁逆唱に失敗したら，打ち切る)	2-8-6	0	1	
		9-2-5-3	0	1	
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってください。 (自発的に回答があれば各2点，もし回答がない場合以下のヒントを与え正解であれば1点) a) 植物 b) 動物 c) 乗り物	a：	0	1	2
		b：	0	1	2
		c：	0	1	2
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにかがあったか言ってください。 (時計，鍵，タバコ，ペン，硬貨など必ず相互に無関係なもの)		0	1	2
			3	4	5
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。(答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり，約10秒間待ってもでない場合にはそこで打ち切る) 0～5=0点，6=1点，7=2点，8=3点，9=4点，10=5点	0	1	2
		3	4	5
				
				
				
			合計得点		

出典) 大塚俊男，本間 昭監修：高齢者のための知的機能検査の手引き。ワールドプランニング，東京(1991)。

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) よくある質問 ワンポイントアドバイス

・設問1～9について

(設問1) 年齢

(Q) 年齢を聞く設問で、2年までの誤差を正解として
いるのはなぜか？

(A) 数え年で答える人もおり、誕生日を迎えているか
どうかで誤差が生まれる可能性もあるため、ちな
みに生年月日を言うことができても、年齢が
いえなければ0点となる。

(設問2) 今日の年月日、曜日の質問(時間の見当識)

(Q) 何年の何月、何日、何曜日と順番に聞いていか
なければならぬのか？

(A) この設問は、時間の見当識に関する質問なので、
どの順番で聞いてもよい。たとえば、「今日は
何曜日ですか？」「今日は何月何日でしたか？」
「今年は何年になりましたか？」というように
逆から聞いた方がうまくいく場合も多い。

(設問3) 今いる場所(場所の見当識)

(Q) 病院で検査をするような場合、その病院名が言
えなければ正解とはしないのか？

(A) 病院名を答える必要はなく、自分が今いる場所が、
本質的に理解できていれば、正解とする。

(Q) 自発的に答えられなかった場合、ヒントの与え
方はマニュアルどおり「家ですか？」「病院で
ですか？」「施設ですか？」の3つを使わなけれ
ばならないのか？

(A) この3つのヒントは、1つの例であり、「家で
ですか？」「デイサービスですか？」「公民館で
ですか？」のように変えてもかまわない。

(設問4) 3つの言葉(3つの言葉の記銘)

(Q) 3つの言葉を覚えやすい他の言葉に置き換えて
もよいのか？

(A) 他の言葉に置き換えてはいけぬ。この3つの言
葉は、検査を作成するときに「植物の名前」「動
物の名前」「乗り物の名前」から連想する言葉と
して、認知症の人も、健常高齢者も共通して連想
する言葉の上位2つから選んで作成している。ま
た3つの言葉同士に関係性のないものを使用して

いるので、この3つの言葉を使うことにしてある。

(Q) 3つのうち2つしか覚えられないときには、ど
うすればよいのか？

(A) 3つの言葉のうち、2つしか覚えられないとき
には、2点と採点する。この3つの言葉は、設問7
でもう一度尋ねる設問であるため、採点した後
もう一度3つの言葉を覚えてもらう。これを3
回まで繰り返し、3つ覚えられたときに設問7
で3つの言葉をもう一度思い出してもらう。も
し3回繰り返しても2つしか覚えられないとき
には、設問7で、「2つの言葉がありましたね」
というように聞く。

(設問5) 引き算(計算問題)

(Q) 100引く7の答えをたとえば92と答えたとき、
「92引く7はいくつですか？」と聞いてもよい
のか？

(A) 最初の引き算に失敗したら、そこで打ち切る。
ちなみに「100引く7はいくつですか？」と設
問し、「93」という正答が得られた場合、「そ
れからまた7を引くと？」と設問するものであ
り、「93引く7は？」といってはならない。100
から7を引くと93になるが、その93という数
を覚えていてもらってさらに7を引くという作
業記憶の課題でもあるため、93という数を検査
者は言ってはならない。

(設問6) 数字を逆からいう問題(数字の逆唱)

(Q) 数字を提示するときには、どのくらいの早さで
言えばよいのか？

(A) 数字はゆっくりと、1秒間隔くらいのスピード
で提示する。できれば、「これからいう数字を
反対から言ってみてください。たとえば、1 2
3 を反対から言うか？」というように練習問題
を入れるとよい。この設問は、単なる数の操作
の問いではなく、「2 8 6」という数を頭で覚
えておきながらそれを逆にして回答するという
作業記憶の課題でもある。

(Q) 3桁の逆唱に失敗しても4桁の逆唱を行うの
か？

(A) 3桁で失敗したら、そこで打ち切る。

(設問7) 3 つの言葉の想起(3 つの言葉の遅延再生)

(Q) 3 つのうち 1 つしか答えられなかったときのヒントの与え方はどうするのか？ またそのタイミングはどう考えればいいのか？

(A) ヒントは 1 つずつ与えるようにする．たとえば「桜」という答えがでた場合には、「動物もありましたね」というヒントを与え、それに対する回答を待ってみる．そして正答であっても誤答であっても、または「分からない」と答えた場合であっても、何らかの回答が返ってきたら、「乗り物もありましたね」というようにヒントを与える．ヒントを与えるときに「動物と乗り物がありましたね」と一度に言うてはならない．自発的に答えるのを待つつもりで設問すべきであり、「桜」という答えしかでないときにすぐにヒントを与えようとせず、「他にもありましたね」というように、少し時間を与えるようにする．

(設問8) 5 つの物の名前前の想起(物品記録)

(Q) 提示する物は、どんな物でもよいのか？

(A) 5 つの品物は何でもよいが、携帯電話のように本人にとってなじみのない物は避けるべきである．5 つの品物は、相互に無関係の物にすることが重要であり、たとえば「鉛筆」「消しゴム」のように関連性のある物はさげなければならない．

(Q) 5 つの品物の提示の仕方ではどんな点に気をつけるべきなのか？

(A) 品物は 1 つずつ名前を言いながら目の前に置くようにする．実際には「これは時計ですね」といって目の前に置き、「これは鍵ですね」というように 1 つずつ確認しながら置いていく．5 つ並べ終わったときに 1 つずつ確認し、「これは？」と聞いて「時計」と反応したら、次に「これは？」と聞いて「鍵」と答えてもらうようにする．そしてその 5 つを見せたまま、「これからこれを隠しますから、何があったか言ってください．順番はどうでもいいですから、思い出した物から言ってみてください」と教示する．また最後の 1 つがでてこないような場合であっても、すぐに終わりにするのではなく、なるべく本人に思い出してもらうように少し待ってみるくらいの余裕をもって検査を行う．

(設問9) 野菜の名前(言語の流ちょう性)

(Q) この設問は、野菜の名前をどのくらい知ってい

るかという知識の設問なのか？

(A) この設問は、知識を調べる設問ではなく、言葉がどのくらいスラスラでてくるかという言語の流ちょう性の設問である．また同じ野菜の名前がでてきても「それは先ほど言いましたね」と遮ることはせず、重複してもそのまま記録用紙に記載し、重複した物をあとで減点していく．

(Q) なぜ 5 つめまでを採点せず、6 つめから 1 点と採点するのか？

(A) 検査を作成したときに、認知症高齢者の平均出現個数が約 5 個、健常高齢者の平均出現個数が約 10 個であったためである．

(Q) なぜ野菜の名前なのか？女性の方が有利な設問ではないのか？

(A) 検査を作成するとき、すべての設問に地域差や性差がないものということで作成してある．野菜の名前についても、地域差、性差は認められていない．

．検査全般について

(設問の順番について)

(Q) この検査は、1 から順番に行っていかなければならないのか？

(A) 順番はどうでもよく、日常会話に織り交ぜながら聞きやすいものから聞いていってもよい．ただし、設問 4~7 の 4 つの問は順番どおり、続けて行わなければならない．

(検査の導入にあたっての注意)

(Q) 検査を始めるときに、どのように導入していけばいいのか？

(A) いきなり「もの忘れの検査をする」というのではなく、「最近もの忘れが気になったりしませんか？」というような切り出し方をする．能力を試されると言うことは、だれでも苦手なことなので、テストに導入するときには、いきなり始めるのではなく、しばらく世間話などをして本人にリラックスしてもらってから始める．

(検査を終了した後の注意点)

(Q) 検査が終わった後に注意すべき点は何か？

(A) 検査終了後のアフターケアは非常に重要である．「疲れましたか？」という言葉をかけたり、最後の設問の「野菜」をテーマにした話をしたりするなど、嫌な気分のまま検査を終わらせないようにする注意が必要である．

＜簡易短期記憶再生検査（STMT） 施行手順＞

～検査全般に関する注意事項～

- *被験者氏名、性別、施行年月日、教育年数（最終学歴）を確認。
- *質問は被験者の顔を見ながら（極端に見ることで被験者の緊張をあおらないよう注意する）、的確に一語一語発音する。

①即時再生（3つの単語を繰返す課題）

1. 「これから私が3つの言葉を言いますので、3つ言い終わりましたら繰返してみてください。」と被験者に質問を教示する。
 - *この際、被験者が質問の内容が聞き取れなかった場合は、一度だけ再教示する。
2. 3つの言葉は分かりやすくゆっくりと教示する。
3. 被験者の回答した単語をそのままの順番で回答欄に記載する。
4. 被験者が再生時に間違ったり忘れてしまった場合は、一度だけすべての単語を再教示する。
5. 最後に「今言ってもらった単語を後でもう一度聞きますのでよく覚えておいて下さい」と伝える。

②数字の順唱（7桁と6桁の数字を繰返す課題）

1. 「私がこれから7桁の数字を言います。言い終わりましたらその通り繰返して言ってみてください。」と教示する。
 - *この際、被験者が質問の内容が聞き取れなかった場合は、一度だけ再教示する。
2. 数字は分かりやすくゆっくりと教示する。
 - 数字の発音は1（イチ）、2（ニ）、3（サン）、4（ヨン）、5（ゴ）、6（ロク）、7（ナナ）、8（ハチ）、9（キュウ）とする。
3. 被験者の回答した数字をそのままの順番に回答欄に記載する。
4. 7桁が終了したら、「次は6桁の数字を言います。言い終わりましたらその通り繰返し言ってみてください。」と教示する（以下は7桁と同様）。

③遅延再生（覚えた3つの単語を繰返す課題）

1. 「先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。」と教示する。
2. 被験者の回答した単語をそのままの順番で回答欄に記載する。
*10秒たっても答えが出てこない時は検査を終了する。

④採点方法

合計8点満点で評価する。正解の場合は右欄の1に丸をつけ、不正解の場合は0に丸をつける。最後にすべての得点を合計して点数を算出する。なお、点数の算出に迷う場合は被験者が答えた単語や数字を表記するのみにとどめ合計点数欄を空欄にしておく。

1. 即時再生

- 順序に関係なく「正しい単語」が再生された場合は点数として加算する（「青い花、白い鳥、黄色い自動車」や「白い鳥、黄色い自動車、青い花」と単語の順番が違っているが、すべて正しく再生できた場合は点数として加算される）。
- 「青い自動車」「黄色い花」などの形容詞と名詞の入れ違いがあった場合は点数として加算されない。

2. 数字の順唱

- 数字が正しい順番で再生された場合のみ点数を加算する（7、6桁共通）。

3. 遅延再生

- 「正しい単語」が再生された場合は点数として加算する。
- 「青い自動車」「黄色い花」などの形容詞と名詞の入れ違いがあった場合は点数として加算されない。

4. カットオフ値

- 4点以下は軽度認知障害（MCI：Mild Cognitive Impairment）を疑う。

【簡易短期記憶再生検査 (STMT)】

氏名 _____ 年齢 _____ 歳 男・女

施行日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 教育年数 _____ 年

	回答欄	点数
<p>①これからいう3つの言葉を 言ってみてください。 後でまた聞きますのでよく 覚えておいて下さい。</p> <p>a) 青い花 b) 黄色い自動車 c) 白い鳥</p>		0 1
<p>②これからいう数字を繰り返して 言ってみてください。</p> <p>5 9 1 7 4 2 8 (7桁) 6 1 9 4 7 3 (6桁)</p>	5 9 1 7 4 2 8	0 1
<p>③先ほど覚えてもらった言葉を もう一度言ってみてください。</p>	6 1 9 4 7 3	0 1
<p>合計得点</p>		/ 8